

富士見中学校のみなさん フードドライブに協力してくれてありがとう!

フードドライブってなあに?



おうちで使われずに余っている食べ物やくらしに使うものを必要なひとのためにわたすことです。おもいやり、たすけあい、もったいないという気持ちをありがとうございますに変えられます。みんながくれたものはお父さんかお母さんのいない家族や、仕事が無くなってしまった家族、外国人の家族へわたしています。これは、熊谷なのいる食堂が毎月しているフードパントリーという活動です。

コロナの影響もあって仕事が減りフードパントリーを必要とする家族が増えてきています。どんな人でもみんなが、ごはんを食べたり、お風呂に入ったり、洗濯したり、勉強したりと、当たり前で暮らすことができるようにと願いながら、富士見中学校のみんながくれた食べ物や洗剤・勉強道具などを入れて渡します。箱入れのときは、熊谷なのいる食堂のスタッフと埼玉トヨペットの社員さんで協力して、一つ一つ丁寧に約90個の大きな箱に入れます。



また、この活動はまだ食べられるのに捨てられる食べ物「食品ロス」を減らすことにもなります。日本は食べられるものを捨てる量が多い国で、世界196か国の中で6番目に多い国になっています。もっと食べ物や物を大切にする国になれるように、まずは一人一人が気をつけてみましょう。

みんなのやさしい気持ちで、たくさんの家族と食べ物が助けられ、ありがとうの気持ちがあまれて明日もがんばれるでしょう。

今後も熊谷なのいる食堂フードドライブにご協力よろしくおねがいします。